

「 小さな一歩から 」

小さなことでも、皆で始めれば大きな力となる。身近なことから始めよう。夢のある大きな目標をもち、自分の出来ることから一步一步、行動に移していこう。

(いのちの言葉 日野原 重明)

金木犀の甘い香りが風に乗るふわりと漂い、秋の訪れを感じさせてくれます。季節の移ろいを風や温度、木々や空の色の变化、花や葉の芳しさ、虫や鳥の声、匂の味と五感を研ぎ澄ますことで、ささやかな癒しや日常への感謝が湧き上がってきます。

子ども達は暑い夏を乗り切り随分逞しくなり、幼いながらも、自ら周囲の環境に能動的に働きかける力を持ち、様々な遊びや体験の中で「何だろう?」と心が動くことが第一歩を踏み出すきっかけになっています。遊びの中では、逃げる、追いかける、競争するなど仲間と共に自分の力を精一杯出し身体を動かす面白さを知ったり、ルールを共有することで人と関わりながら気持ちをコントロールすることを学んでいます。又、昨日跳び越えられなかったジャンプに何度も挑戦する姿に「頑張って」と声援を送り「出来たね、良かったね」と一緒に手を叩き喜び合い、思いやりや尊敬の心の芽生え、友だちのやっている姿が刺激になり、挑戦する意欲の高まりを感じます。更に経験が自信を生み一歩を踏み出せるのではと思います。

大人になると「夢」を持つことに躊躇しがちですが、やりがいを感じた時の情熱を思い出させることの発端は探して見つかるものでもなく、偶然の刺激からもたらされる事もあります。自分の可能性を狭めず、出来ることから行動を起こしていきたいですね。興味あるものから始まった活動が継続的に発展し、一人ひとりの将来の夢に繋がるとするなら、世界中で取り組んでいるSDGsを通して歩みを進めていきましょう。安心できる環境づくりの中で愛着や信頼感が形成されるよう、丁寧な眼差しと関わりに努め、引き続き自己肯定感という心の根幹を作り自信や忍耐力、社会性が育まれるよう取り組んでいきたいと思ひます。

運動会にご協力を頂きありがとうございました。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
 職員一同

11月聖句

地はお造りになったものに満ちている。

詩編104篇24節

11月主題

「みつける」0歳

- ・お祈りやさんびかを通して心地よさを感じる。
- ・興味、探究心が深まり、活動的になる。
- ・たくさん自然物に触れ、喜ぶ。

「どれがいい」1・2歳

- ・神さまを身近に感じて喜んで賛美やお祈りをする。
- ・自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す。
- ・自然の恵みを感じ、また触れて遊びや生活に取り入れる。

～子どもたちの姿～

心地よい風が吹き、戸外で身体を動かすことが楽しい季節になりました。

園庭では、自分たちでジャンピングバーを並べて繰り返し、跳ぶことで脚力が付きタイミングを合わせてバーを越える姿が見られました。また、すすんで進んで積み木を並べてサーキット遊びに発展させていました。行事での経験が主体的な行動に繋がり、遊びの中で活かされています。運動会では、親子でふれあい笑顔が溢れていましたね。ご協力を頂きありがとうございました。



【11月の讚美歌】

はたけにおやさい

【11月のうた】

やきいもグーチーバー
 山の音楽家

11月の予定表	月	火	水	木	金	土	日
			1 検体提出	2	3 文化の日	4	5
	6	7	8	9	10 身体測定	11	12
	13	14 内科検診	15	16	17 収穫感謝祭	18	19
	20 避難訓練	21	22 検体提出予備日	23 勤労感謝の日	24	25	26
	27	28	29	30	31 クレイシュ通信		

◎11月1日(水)は第一回検体になります。
 ◎11月17日(金)は収穫感謝祭になります。詳細は別紙にてお知らせいたしますので、ご確認をお願い致します。